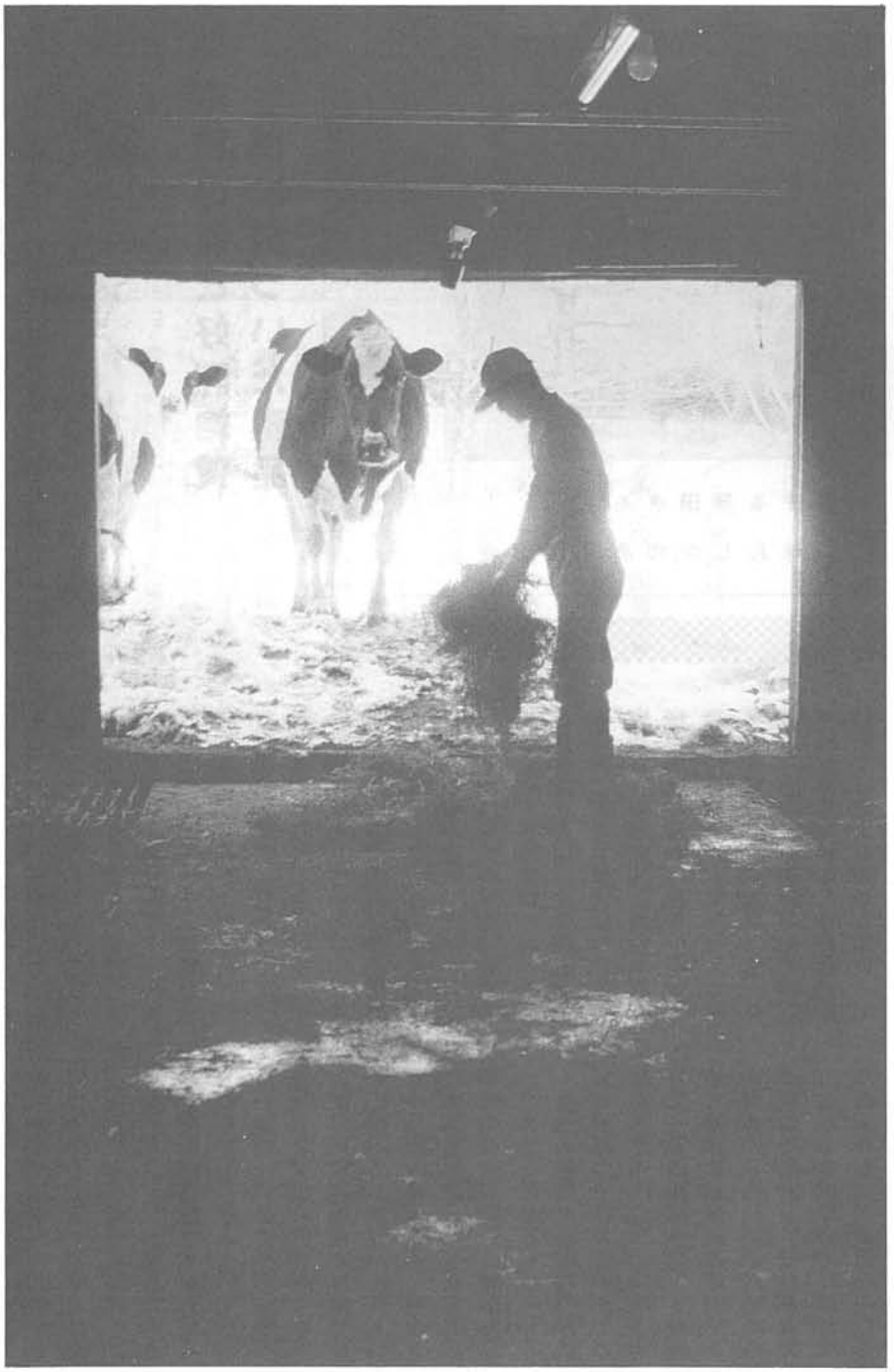
昭和63年
4月号
広報 いまかね
No.351



柔かな日ざし受けて春を待つ（美利河 丸山さんの牛舎にて）

「カンパニュ舎」創業

記念試食パーティー

畜産高度加工研究会を昨年暮れ結成。メンバーは、奥田八平さん（日進）酪農、木俣忠さん（日進）酪農、天沼寧さん（神丘）農業、渡辺修さん（種川）落合久さん（高美町）獣医、岩本正満さん（高美町）獣医の6人。

日進小学校の廃校利用、仲間で工場に改築した。一月末に保健所から創業が認可。ハム、ソーセイジなど30種類の製品づくりに取り組む。この試食パーティーを2月27日町民センターで開催。

この催しの代表、奥田さんは、「今金町の特徴ある特産品づくり。地元に根を下ろした製品づくりをしたい。」と。

70人が出席、ワイン片手に試食していた。奥田さんから製品の説明はあったが、調理士の人たちも出席、話しを聴く。「無添加の良さ。自然に口に馴染む。後味に快感がある。」との話しや「生の味が伝わってくる。」と好評。主婦からの感想は、「市場食品の見直しが必要では…」とか「ご馳走であると思う。値段が気になる。」との話しがあった。奥田さんは「自分なりの食べ方をしてほしい。」と付け加えていた。

試食ばかりでなく、抽選会あり、天沼さんのフルート、川村さん（瀬棚）バイオリン演奏と会場の雰囲気を盛り上げていた。

創業を始めることになったことを奥田さんは、冬季に何人かの仲間で賞味していた。年々希望者が増加、個人対応が不可能となり「それでは！」と始めた。

「地元消費が第一。それからどうするかは今後の課題になる。」とのこと。生産量は、月150キロから200キロの加工を目指している。「通年でやりたいが、設備が問題。大型冷蔵庫、高性能の機械が導入できれば通年創業が可能。」と奥田さん。

経営内容は「火の車」とつけ加えていた。販路については、グループに食べてもらいながら拡大することを相談しているとのことだ。

ハム、ソーセイジづくりの仲間は、職種がそれぞれ。午後1時から5時まで製品づくり。6時から8時まで本業の搾乳に入る。8時から時間無制限の製品づくり作業に入る。

それぞれのプロフィルは、奥田さん、49年から53年今金町住人になるまで森町、曽田シャロレイ牧場で食肉加工に専念していた。木俣さん、大学での専門知識を生かしたハムづくりをしていた。天沼さん、父親伝承による独創製法でハム、ソーセイジづくりをしていた。渡辺さん外国で食べた生ハムの味覚が忘れられなかった。落合さん、岩本さんの両名は、こうした製品に興味。食べたい一心で参加したとのことである。

食通の仲間たちが集合。最良の製品づくりの秘密がここにありそうだ。

こうした組織を生かすも殺すも地域次第。特産品づくりの原点。それは、欲しいものが「ここにある」それを求めて人が来る。今金でなければ手に入らない。そんな所にあるのではないかと思われる。

本物の味と好評絶賛
地域に根づいた産品

説明する奥田さん。
味たしかめあう出席者

種川中学校
統合に調印
22年間に終止符合意

種川中学校が今金中学校に統合することに合意。この調印式が、2月22日役場会議室で行われた。

町側から、村本町長、高田助役、本間教育委員長、遠藤教育長が出席。地域から、千葉進種川連合部落会長、加藤三明種川小中学校父母と先生の会長、吉田智PTA副会長、村上信俊種川中学校長、石戸谷穣種川小学校長が出席して調印された。

統合合意。握手もかたく。
左から、加藤PTA会長
千葉連合部落会長
本間教育委員長

◎合意内容

(1)スクールバスの運行は三系統とする。

奥種川―今金中学校、国道230号沿線―今金中学校、上稲穂―下稲穂―金又―今金中学校

(2)放課後、生徒の部活動が円滑化。スクールバスの運行には今金中学校とも充分協議、全町的に見直し対処する。

(3)要所にスクールバス待合室を設置する。生徒数の増減、待合室の移動についても充分検討を加える。場所、用地、管理等を含め、改めて両者で協議する。

(4)スクールバス運行には、障害、緊急の対処に無線機を配備する。障害等で運行が遅れた場合、生徒連絡網等を利用、連絡に万全を期する。

(5)生徒指導のため、種川中学校教員を今金中学校に異動配慮。免許教科、経験、年齢構成等の問題を慎重に期して行う。

(6)統合による新2、3年生の女子制服、男女ジャージ、生徒手帳、ネームプレートに援助する。

(7)学校行事に父母が出席する場合、父母のためにスクールバスを運行する。但し、スクールバスを運行する学校行事の特定には、今金中学校と充分協議する。

(8)統合後も問題が生じた場合、予想された場合は両者が速やかに処理解決、協議する。

以上

加藤さんから「長い間ご迷惑をかけた。PTAの意志を伝え調印に合意する。」主な内容は、合意文章の表現に意見があった。待合室は、8月を目途に考えて欲しい。人事問題も当面だけでも受けて欲しいと迷べていた。

町長から「20数年間の問題が解決した。感謝する。8項目に最善をつくす。」謝意。「種川小学校の建設には、前向きで検討して欲しい。統合の説得材料であり、今日になった。」と強い要望があった。

これまでの経過は、昭和39年議員協議会に、質的教育機会の均等、諸条件の改善をもとに提案。40年に統合特別委員会を設置。この時、1校案は時期早尚とした。44年まで統合問題は中断していた。

その後、年々生徒数が減少したこと。44年に神丘小中学校が火災全焼統合。豊田、日進が統合に合意。50年に八束小中学校が火災全焼、統合となった。

住民の合意が得られなかった種川中学校だけが残り、全部が統合。54年に統合今金中学校舎が建設着工。55年に完成。種川地区は、「一方的な統合の押しつけ。教育の原点に反する。」と今日に至っていたものである。

NHK番組 北道中 ひざくりげ

今金町が招介されます

放映日
4月21日(木) 午後7時30分～
4月24日(日) 午前11時20分～

内容
○開拓の地 神丘、イマヌエル教会
○特産物 今金男爵いも
○名所 美利河温泉山の家
○炭やき 芳賀常夫さん夫婦

その他多勢が紹介されます

第二回定例町議会

3月10日から19日までを会期に、町長の町政執行方針、教育長の行政執行方針、62年度の補正予算、条例、63年度予算、一般質問、陳情、請願、意見案が審議された。

本年度の予算編成は、節度ある財政運営を基本にした産業振興、社会福祉、生活環境の整備、教育、文化の振興を目的に、活力あるまちづくりに取り組む。一般会計予算45億6千86万7千円、前年対比28・8パーセントの伸びとなった。

※町政執行方針

Ⅰ 産業振興

農産物の輸入自由化。脱脂粉乳・でん粉を残して10品目が自由化となった。本町農業の確立、発展を期するのに、地域ぐるみの生産組織を育成、集団化、農作業機会の共同化。農畜産物の生産コスト低減に取り組む。

63年度町政の執行方針を述べる　村本町長

○農業振興

稲作農家を中心に機械施設の共有化、共同利用、共同作業をする集団の助成。野菜振興には専門技術員を確保して図る。

○畜産振興

優良種雄豚の導入。黒毛和種飼養農家を主体とした堆肥盤の設置、一部助成する。黒毛和種導入は今年が最終年次、50頭を予定。畜産共進会場施設の建替を計画。

○農業構造改善

神丘地区の農道、農村広場の整備を計画。

○地域農政の推進

農業の集団化を進める。米の配分率は、一般米限度数量6、627トン、他用途米762トンとなった。各戸配分を検討する。

○土地改良

農業基盤整備が重要課題。用排の整備、複合化経営、農地開発、農道整備を年次計画する。

○国営北檜山右岸地区直轄かんがい排水事業

本年度13億9千万円。神丘幹線排水路1、130メートルを施工。この事業は43年度に着工、21年間の工期。64年度に全地区完了予定である。

○国営今金東部地区農地開発事業

本年度6億。農地造成61ヘクタール、農道3、500メートルを実施予定。64年度は地区全体の見直し。希望者の取りまとめを計画している。

○国営利別川地区直轄かんがい排水事業

美利河多目的ダム関連事業である営農用水は、農家経済、地元負担に同意困難。受益者が理解できる事業内容に、関係機関と協議する。

○道営事業

光台地区農免農道ループ橋は下部工、橋脚4基が今年度で完成する。金又地区過疎農道改良620メートル。八東初田地区山村基幹農道380メートルを実施。八東圃場整備農道舗装1、760メートルを予定。

花石地区開拓地道路改良は55年度から着工。道路改良50メートル、法面保護工事で完了予定。

○団体営業業

小規模排水事業として、種川地区462メートル、金原旭地区422メートル、新生地区248メートル、豊田左岸地区1、225メートル、初田地区400メートル、第2モウセウシ地区1、166メートル。新規に日進地区農道事業が実測設計の見込み。花石地区農道舗装125メートル今年度実施。

○林業振興

不在地主所有山林を買収、郷土出身者に貸与「ふるさとの森づくり」を検討。育成保育、下刈、野そ駆除を図る。

○林業構造改善

種川線作業道開設、一部助成。新植10ヘクタール。下刈り138ヘクタール。町有林施業計画は63年度で終了。64年度から68年度までの計画樹立を図る。

○林道事業

普通林道小原線、広域基幹林道の種川、美利河線は継続実施。

Ⅱ 社会福祉の向上 生活環境の整備

核家族化、環境の変化、社会福祉協議会を軸に、民間団体の参加、推進を図る。本町の65歳以上の人口割合13・7パーセント。全国10・3パーセントを上回る。

痴呆性老人や一人暮し老人、寝たきり老人の在宅サービス。福祉施設の利用、高齢者の健康保持と生がい活動の促進に老人クラブ運営活動費、敬老会運営費、老人手当を増額した。

高齢者スポーツ大会。老人と子供の集い。公衆浴場の無料開放。胃ガン無料検診等を実施計画をしている。

○環境衛生

家族系ごみ処理問題は、衛生団体連合会が母体となって対応、負担軽減措置を構ずるものに助成する。

やすらぎ霊園墓地を2ヵ年計画で整備。63年度シンボルタワー、墓地72区画、駐車場を整備する。

○保健衛生

本町の死亡原因順位は、ガン、心臓病、成人病である。「自分の健康は自分で守る」意識の高揚、健康相談、診査、訪問指導を積極的に進める。

○消防対策

予防査察の実施。防火水槽市街地一基、消火栓を増設。サイレン塔を中学校跡地に新設。消防前サイレンの増強。同両箇所に拡声装置を設置する。

○交通安全対策

運転者、歩行者の交通安全教育。特に、子供、老人の交通安全事故防止に努める。

○町道改良

八東高台線改良740メートルの継続。新規に濁川～住吉線改良実施する。

○舗装工事

豊田線1、120メートル。美利河環状線840メートル。神丘10号線545メートル。神丘7号線500メートルの舗装を実施する。総合公園取付道路70メートル。御影光台線400メートルの改良舗装。日進改良は、延長1、870メートルを3ヵ年で実施予定である。

○雪寒事業

防雪柵2路線420メートル。除雪トラック1台更新。冬期間の生活路線を確保する。

○橋梁架換事業

継続の田代橋に自歩道橋を設置する。本村橋、畑の沢橋の架換工事を実施する。

○住宅対策

北国に適した快適な街づくりをテーマに、南団地の建替を。63年度から8ヵ年で整備。84戸の住宅と集会所、児童公園を計画。63年度は、1棟12戸を建築予定。

○総合公園事業

アプローチ道路270メートル、広場の造成をする。

○町単独事業

旭線縁石布設替工事。旭幸線補修工事を計画。

Ⅲ 教育文化の振興

懸案であった種川中学校の統合問題は、地域と協議、2月下旬この合意が得られた。種川小学校は老朽化、全面改築をする。

Ⅳ 特別会計

○国民健康保険特別会計事業勘定

保険税は、医療費の伸びによって、国で定める賦課限度額「39万円」を「40万円」に。低所得者の4割軽減基準額28万円はそのまゝ。6割軽減世帯1人当たり基準額「20万5千円」を「21万円」と引き上げとなる。

○老人保険特別会計

本町老人1人当たり医療費は、全国的に高位にある。健康相談、健康診査、訪問指導を積極的に進め、予防医療の普及に努める。

○国民健康保険特別会計施設勘定

経営体制の合理化、効率化を図る。町民に患者に、親しみ、信頼ある病院づくりを図る。

○簡易水道特別会計

一般家庭の老朽化したメーター器を取り替え、施設を充実、適性給水を図る。

※教育行政執行方針

Ⅰ 学校教育

「豊かな心とたくましさを育くみ、個性を生かす学校教育」を重視。学校経営、教育課程、学習指導、生徒指導、健康、安全指導の五点を細分化。一層の充実を図る。地域の特性を活用した教育。児童、生徒がゆとりをもち、成就感ある学校生活、教育活動を期待する。

○生徒指導

小学校社会科副読本が五年を経過。本年度はこの改訂を計画。最近、部活動で心臓発作などの死亡事故がある。事故防止対策として、中学一年生を対象に心電図検査、早期対策に取り組む。

○中学校統合問題

22年間の経過をたどる種川中学校の統合が、2月22日統合の合意が得られた。種川地域部落、PTAのご理解に感謝する。新学期から今金中学校通学となる。

○種川小学校全面改築

今年度着工。建築空間ある学校。子供たちの思考や創造の源なる施設。地域の教育センター的役割を持つ多目的ホールを設け、地域に開放する。

一階　一、〇四二㎡
二階　六六五㎡
鉄筋コンクリート造り
一部二階建

○教員住宅

神丘小学校、種川小学校、各1戸を計画。

○施設整備

今金小学校のグランド土質改善、事故防止を図る。今金中学校のランチルーム内部塗装整備。

Ⅱ 社会教育

○学習機会の充実

リーダー等の養成、資質の向上を図る。社会教育団体やグループの自主的な活動を助長する。

○体育スポーツの振興

近年、高齢者や女性のスポーツ参加が増加。新しく高美公園を整備、パークゴルフ場を設ける。

○文化活動への町民参加

生活に根ざした地域文化の創造性を深める。文化講座、芸術鑑賞など、精神面の豊かさを助長する。

美利河埋蔵文化財包蔵地調査、砂金跡の収集。民俗生活用具の収集を図る。美利河海牛化石骨の復元する。

○青少年健全育成

生活体験をとおして自発生、創造性を養う。青少年団体の育成、野外活動、スポーツ活動の

場を拡充、健全育成を図る。

※条例等審議事項

原案どおり可決した。

▽町職員の休暇が制度化

昨年試行中であった4週間に一度休んでいたことが条例化された。

▽手数料が変わる

①地籍図、地籍簿の閲覧
一枚三百円　交付一枚五百円

②地籍図根（三角点、多角点）網図の閲覧
一枚五百円　交付一枚千円

③地籍図集成図の閲覧
一枚五百円　交付一枚千五百円

④地籍図根（三角点、多角点、細部点）成果簿の閲覧
一点五百円　交付一点千円

⑤前各号以外のものの閲覧
一枚五百円　交付一枚千円

⑥地籍に係る諸証明
一件五百円

▽農地流動他対策資金の貸付

農地取得、経営規模の拡大、農地の流動化を図るのに設ける。

(1)基金額　1億5千万円

(2)資金貸付対象額
農地取得資金の借入残額の20パーセントに対し貸付する。制度資金の借入をしない対象者にあっても同じ取り扱いとする。

（現在償還金1,000円に償還金800円（残額200円）の残額が対象に。20%を超えるものは20%で打ち切り。

(3)貸付機関
町から農協へ。但し、農業委員会の承認を得て個人貸与となる。

(4)貸付の条件
利　率　無利子
期　間　4ヵ年
償還方法　元金均等
償還期日　11月12日
延滞利息　年9パーセント
貸付開始　63年4月1日から

▽生活館、改善センター、寿の家の管理

それぞれの事業によって建設。条例を一本化、公平化を図るものである。維持管理費、電気料、燃料費、水道料の一部を町が負担する。公的使用は無料。個人、営利目的使用は有料とする。

▽特別慰労金の支給

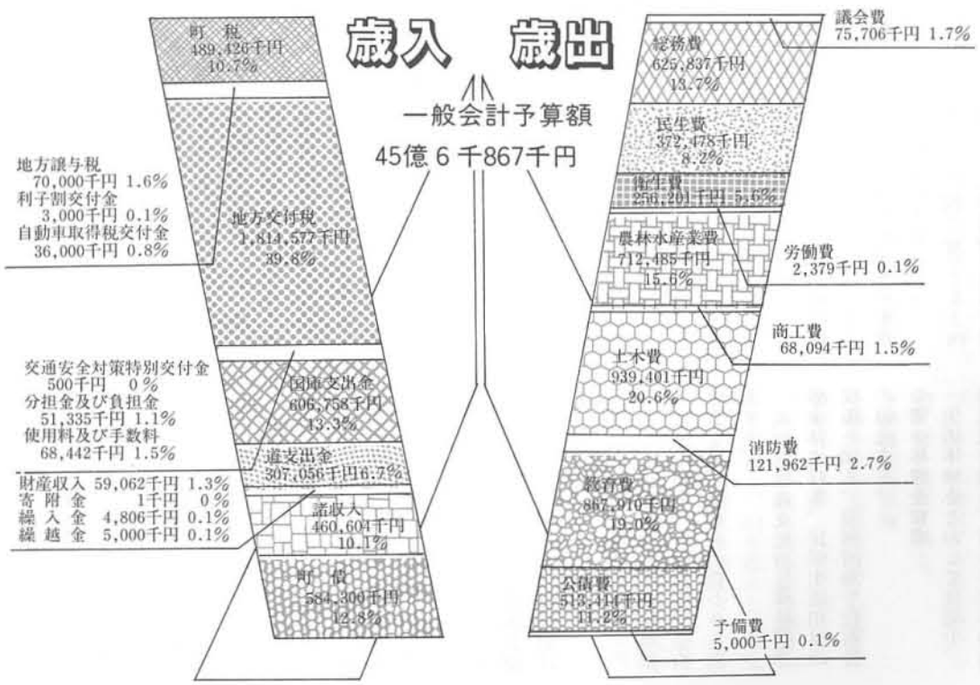
前町長、河端　豊氏　4期16年、任期満了に対し、特別慰労金として、6百万円を支給する。

以上の他、62年度補正予算、63年度新年度予算などを審議、原案どおり可決した。

昭和63年度 予算

一般会計	45億	6千867千円
（特別会計）		
国保事業勘定	7億	9百050千円
老人保健	7億3千	4百736千円
国保施設勘定	10億5千	1百525千円
簡易水道	1億	1百388千円
合計	71億5千	7百566千円

昭和63年度　一般会計予算構成比



勲五等雙光旭日章　表彰

故柳　太一さん(75)栄町

社会奉仕活動61年
地域の発展に献身

3月1日、野村晃一檜山支庁長が来町。柳さんの仏前で、奥さん智恵子さんに、栄誉賞が伝達された。

柳さんは、昭和2年利別村（現今金町）に奉職。22年には利別村助役に。26年今金町助役。35年手腕が買われて厚田村助役となる。12年間この職を務める。47年厚田村長、1期4年を務めて退任した。

51年ふるさと今金町に住居をかまえる。52年から63年まで社会福祉法人豊寿園理事長。今金町公平委員を務めていた。惜しくも1月18日他界した。

経験豊富、豊かな人間性は、地方自治発展はもとより、地域にあたえる影響は大であった。

この人間性が高く評価。30年全国町村会長表彰、39年北海道知事表彰、51年藍綬褒章、51年厚田村功労表彰を受けている。

この度、栄誉ある受賞となったものである。

柳さんの表彰を仏前で受けた智恵子さん

美利河小学校児童

先生、家族ぐるみで　ひな祭り

美利河小学校児童のひな祭が3月3日学校で行われた。先生3人、児童4人、中学生2人、父母他7人が参加。全員が上下を身に着け、色紙で作ったひな人形を飾って甘酒でカンパイ。

児童が遊戯、器楽演奏　お父さんのカラオケあり。ジェンカのリズムに乗ってのジャンケンゲーム。全員が4チームに分かれ、負けた方が抜け、勝った方の例に加わる。長い方が勝ち。笑い笑いのゲーム展開。

終わりに、新家健明校長から「外はとっても寒い。でもこの中は温ったかい。皆んなで作ったひな段、人形がある。何万円もするひな人形よりすばらしい」とあいさつ。

この計画は、児童会できめたもの。親子でキャンプ、収穫祭、お店屋さんごっこ、クリスマスと盛りたくさんの行事がある。

美利河は「若い人がいない。赤ちゃんもいない。何かをやらなくてはと思い、始めた。今年1月からスポーツ教室を始めた。毎週水曜日、6時から9時まで、バトミントン、ビーチボール、ピンポンである。美利河ダム週辺整備にかける期待は大きい。「学校中心に栄えてほしい。」と森先生は言う。

◀遊戯も楽しく

▼上下をまとい家族ぐるみが参加してのひな祭り

金原小学校

雪中運動会

今年12名が卒業するとあって、2月25日卒業生を送る会を先生が企画。体力づくり、親子のふれあいを兼ねたもの。

全児童36人、父母が参加。スキー大会、昼は豚汁。午後からお母さん手製のカルタとり。縦75センチ、横60センチの大型のもの。雪深いグランドにいろはカルタがまかれ、放送室から札が読まれる。子供に敗けじと駆けるお母さん、お父さん。カルタがどこにあるかを暗記しようとする親と子。学校スキー場を利用、大型車のチュウブに乗ってのミカン拾い、笑い声があふれていた。幼児や児童、父母、先生と地域ぐるみが親睦を深められていた。

とったあー。転倒惜しくも負けました。

新しい家族

夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学
詫摩武俊

お七夜、お宮参り、七五三、成人式、還暦など人生のある時点でお祝いがなされます。無事に成長したことを本人のためにまわりの人が祝福する習慣で、通過儀礼ともいいます。たとえばお宮参りというのは誕生後三か月、あるいは百日を迎えた日に近くの神社に親が抱いてお参りをします。このころになると首がちゃんと座って抱きやすくなります。順調に育ちつつあることをお祝いする意味があると思います。

お正月、節分、桃の節句、端午の節句、春と秋のお彼岸、お月見など季節ごとの行事もたくさんあります。入学式、卒業式、開校記念日、入社式、結婚式さらに告別式、三回忌など、よその国に比べてわが国にはこのような行事が多いように思います。以前はもっと多かったでしょう。地方によって独自の行事もあります。

いずれも多くの人がひとつの場所に集まって飲食を共にするところに特徴があります。相互の連帯感を高め、ある場合にはひとりの人を褒めたたえ、激励し、ある場合にはそこにいない人を偲ぶことによって、その人と自分との関係を考えるという意味があります。

近年このようなさまざまな行事が一方においては華美になり、

生活の中の儀式

他方においては省略化され、廃止されつつあります。結婚式、社長の就任式、七五三などは前者であり、節分の豆まき、紅葉狩りなどは後者になります。自然との接触の少ない都会型の生活が主になったのですからやむを得ません。針供養とか灯籠流しなどは知らない人も多くなりました。

子供を中心に考えたとき、私は人生のそれぞれの節目にあたる儀式、一年の季節の移り変わりと関係の深い行事は、家庭の中で、できる範囲内でやってほしいと思います。親と子が同じ場所にいて体験を共にし、その日のいわれについて親が子供に話すことが大切なのです。

親と一緒に七夕の夜を楽しんだり、秋のお月様を眺めながらおだんごを食べたりした記憶は子供の心の中に鮮明に残るものです。そしてその日の親の言葉や動作もふだんの日とは違ったものとして忘れ難いものになるのです。

④月号　検診を受けて明るい家庭づくり

みんなの健康

	項目	出ていただく方	実施する日	時間	対象地区	実施会場	備考
①	一般相談	全住民	4日(月)	10:00～15:00	全地区	老人福祉センター	健康相談、保健指導
	〃	〃	11日(月)	〃	〃	町民センター	〃
	〃	〃	18日(月)	〃	〃	老人福祉センター	〃
	〃	〃	25日(月)	〃	〃	町民センター	〃
②	乳児相談（離乳食講座）	生後6、9ヶ月児	7日(木)	受付時間 13:00～13:30	〃	〃	保健指導
③	妊婦相談（母親学級）	妊婦の方	12日(火)	〃 12:45～14:00	〃	〃	検尿、血液検査、予診、体重測定、診療、保健栄養指導、歯科指導
④	ポリオ	3ヶ月以上24ヶ月児	〃	13:20～13:30	下地区	国保病院	6週間以上の間隔で2回接種
	〃	〃	13日(水)	12:50～13:00	市街地区	町民センター	〃
	〃	〃	14日(木)	12:50～13:00	上地区	種川小学校	〃
⑤	3歳児健診	3歳2ヶ月児～3歳5ヶ月児	15日(金)	13:00～14:00	全地区	町民センター	身体計測、診療、歯科指導、保健指導、栄養指導
⑥	育児講座	3ヶ月児	21日(木)	受付時間 9:30～10:00	〃	〃	身体計測、保健指導
	乳児健診	4、7、10、12ヶ月児	〃	〃 12:30～13:00	〃	〃	身体計測、保健指導、医師による診察、歯科指導、神経学
⑦	股脱健診	2ヶ月と25日以上の乳児	25日(月)	〃 13:00～14:00	〃	今金保健所	コ関節X線写真
⑧	ツ反	今小1、2年生	〃	10:30～11:15	今小	今金小学校	1回接種
	〃	今中1、2年生	26日(火)	10:50～11:40	今中	今金中学校	〃
⑨	BCG	今小1、2年生	27日(水)	10:30～11:15	今小	今金小学校	ツ反検査の陰性の者
	〃	今中1、2年生	28日(木)	10:50～11:40	今中	今金中学校	〃
⑩	無医地区巡回診療	全住民	26日(火)	受付時間 14:00～15:00	全地区	町民センター	診察科目　整形外科

いのちを救う愛の献血―赤十字

GIVEBOOD……SAVELIFE 1986年赤十字国際標語

14日（木）献血の日

◎役場前　9時～14時
◎農協横　14時15分～16時

採血の前に医師が検診いたします。1回200㎖（400㎖も可能）の献血はあなたの健康にさしつかえありませんのでご協力をお願いいたします。

衛生センターからのお知らせ

衛生センターの指定ごみ袋に新たなごみ袋が追加されます。これは、衛生センターが住民の皆さんの要望に応え、現在の指定ごみ袋(小)より、さらに小さい袋を製作、追加するもので、その内容は次のとおりです。

○**袋の種類**＝もえるごみ用　○**大きさ**＝40cm×37.5cm
○**手数料**＝1枚30円

※実施は4月1日からです。

瀬棚簡易裁判所が統合廃止に

4月30日限りで廃止になります。八雲簡易裁判所を利用してください。

※**調停等の相談（出張）**
●毎月第2水曜日
●場所　瀬棚町民センター
●午後1:30～4:30まで受付相談を
●電話　⑦2239番

※詳しくは、八雲簡易裁判所　☎01376－2－2494へ

函館地方家庭裁判所から

いま、子供たちは……

人々の生活の基盤である家庭――最近の経済発展、都市化、情報化などにより、家庭を取り巻く環境が大きく変化してきています。また、核家族化、少子化、女性の職場進出などによって家庭のあり方も大きく変わろうとしています。その中で、子供たちは家庭という暮らしの場をどう考え、家族のあり方をどう見つめているのでしょうか。

「昭和六十二年版青少年白書」(総務庁)では、こうした問題にスポットをあて、その実態と意識を調査しています。子供たちは家庭に何を望み、また親は子供たちとどのように接しているのかをさっそくみてみましょう。

親 家庭に何を望むか 子

いざというときに力になってほしい

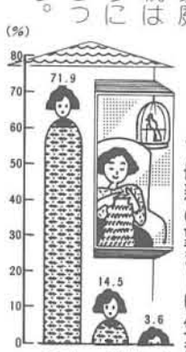
経済的豊かさよりも、愛情の豊かさを求めているのがよく分かります。また、家庭に望むことの第一位は「いざというとき力になってくれる」で、家庭を頼りにしている子供たちの姿が見えてきます。

生きていくための心のよりどころを求めている

中学生の子供をもつ母親が「望ましいと考える生き方」について見ると、「たとえ豊かな暮らしはできなくても、家族みんなが愛しあって楽しく生活できるような生き方」を望んでいる人が七割を超えています。

また、「家庭に望むこと」では、子供が一位にあげている〝いざというとき力になってくれる〟は三位に下がり、〝生きていくための心のよりどころとなる〟が一位になっており、親と子供の立場の違いがはっきりあらわれています。

▼母親の望ましい生き方(上位三位)▲



生きていくための心のよりどころとなる
たとえ豊かな暮らしはできなくても、家族みんなが愛しあって楽しく生活できるような生き方
ときには食うに困ることがあっても、自分のしたいことにうちこめるような生き方
別に有名にもならないけれど、人並み以上のゆったりした生活のできるような生き方

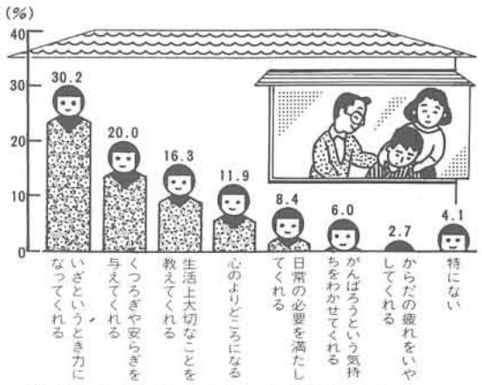
▶親が家庭に望むこと◀

※四捨五入の関係で合計が100%になりません。

▶青少年の家庭観◀

※四捨五入の関係で合計が100%になりません。

▶青少年が家庭に望むこと◀



※四捨五入の関係で合計が100%になりません。

親 自由時間をどう過ごすか 子

ひとりで遊ぶ青少年が多い

小学生(高学年)と中学生に、「放課後、何をしていますか」と聞くと「テレビを見る」が第一位、「ひとりで遊ぶ」が第三位となっています。家の中でひとりで遊ぶ青少年が多いことがわかります。

▶子供が放課後にすること◀

「自分の趣味に時間を費やす」がトップ

父親の休日の過ごし方を見ると、家族と外出したり、家の中で一緒に過ごす人もいますが、やはり「自分の趣味」に時間を費やす父親が多いようです。

これではひとり遊びの目立つ子供とお父さんが接触する時間は、ますます少なくなってしまいそうです。

▶父親の休日の過ごし方◀

親と子のコミュニケーションは?

青少年は両親とのふれあいを求めている

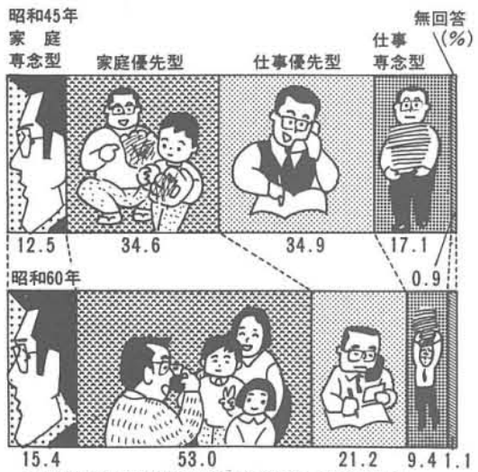
大きく分けて「積極的にやっている」が四七%、「積極的にやっていない」が五二・三%となっています。積極的に子供の相手をする理由の一位は「いろいろ教えたい」です。反対の理由では「仕事が忙しい」が第一位、「相手をする必要のない年齢になったから」「妻にまかせるのがよいと思う」と続きます。

また青少年からみた好ましい父親の態度を表す調査があります。昭和四十五年に「家庭優先型」三四・六%、「仕事優先型」三四・九%だったのが、昭和六十年には「家庭優先型」五三%、「仕事優先型」一二・二%と変化しました。

年々、親とコミュニケーションをとりたがっている青少年が多くなっているのがわかります。

▶父親が子供の相手を積極的にしているか◀

▶青少年からみた好ましい父親の態度◀



※四捨五入の関係で合計が100%になりません。

4月の休日当番医

3日	平　病院(北檜山)	☎	④5011
10日	今金町国保病院	☎	②0221
17日	楢崎病院(瀬　棚)	☎	⑦3021
24日	北檜山町国保病院	☎	④5321
29日	今金町国保病院	☎	②0221

住民の動態

2月末現在

	前月対比
人　口	8,251 (＋1)
男	4,006 (－5)
女	4,245 (＋6)
世帯数	2,525 (－4)

おたんじょうおめでとう

松永　昌子ちゃん	2月11日	(政幸さん　長女)	南　町
五十嵐吏季ちゃん	2月17日	(義治さん　2男)	日　進
小嶋　文也ちゃん	3月4日	(文男さん　2男)	末広町
伊藤　良ちゃん	3月4日	(弘樹さん　2男)	高美町
河村　雅仁ちゃん	3月6日	(晴雅さん　2男)	八幡町
石井　大智ちゃん	3月10日	(敏永さん　長男)	高美町
若山　雄大ちゃん	3月11日	(省一さん　長男)	末広町

いつまでもおしあわせに

3/4尾崎　五郎さん(末広町)＝野村　光江さん(末広町)
3/5越後谷久興さん(花　石)＝大越　正子さん(八　東)
3/9川崎　寛さん(神　丘)＝飯沼　良子さん(北檜山)
3/11萬谷　裕史さん(栄　町)＝澤田　春美さん(北檜山)
3/12小川　龍幸さん(南　町)＝成田茂都子さん(函　館)
3/25佐藤　敏秀さん(高美町)＝稲垣ミヨ子さん(金　原)

おくやみもうしあげます

山田　一さん	2月19日	85歳	八　鈴
大松　太郎さん	2月23日	68歳	鈴　岡
川村健之助さん	3月10日	85歳	南田代
村上　雄蔵さん	3月15日	66歳	昭和町
中島竹次郎さん	3月20日	72歳	住　吉

☆国民年金の保険料は納めましたか！

4月は、62年度の最終納期です。いま一度お確かめを。

※　5月1日以降からは、郵便局、道銀の指定取り扱いになります。現在の納付書で納められませんのでご注意を！

☆国民年金保険料が免除される

特別な理由があり、納めることが困難な場合は、保険料免除の制度があります。

☆保険料を前納するとお得です！

4月から翌年3月まで一括納入できます。

▽月払い　92、400円
▽前　納　90、170円

町民福祉課年金係から

管内活性化アイディア募集

道南圏、檜山管内の発展は、自分の住んでいる町の発展につながります。広い視点で管内をとらえ、檜山づくりに貴方の知恵を提供してください。

記

主　催　檜山支庁、町村会

応募資格　管内にお住まいの方

内　容　400字詰原稿用紙4枚以内。住所、氏名、年齢、職業を名記。

応募期限　今年、5月14日まで。

応募先　〒430　檜山郡江差町　檜山支庁総務課　広報渉外係へ

アイディア賞　優秀作6点に賞を贈ります。

発　表　6月上旬道新紙上

檜山支庁から

戦没者遺族の皆さんへ

―第4回特別弔慰金の請求はお済みですか！―

特別弔慰金（額面30万円、10年償還の国債）の請求期限は、6月13日です。手続きは早急に。

支給対象

(1)　昭和60年4月1日において遺族年金、公務扶助料等の受給権者がいない遺族であること。

(2)　戦没者の兄弟姉妹、子供、三親等内の親族であること。

(3)　右記に該当する遺族の先順位者一人に対し支給されます。

※　手続きの詳細は、役場遺族援護担当係へ。

檜山支庁から

発行／北海道今金町役場　Tel②0111番　編集／企画調整課広報広聴係